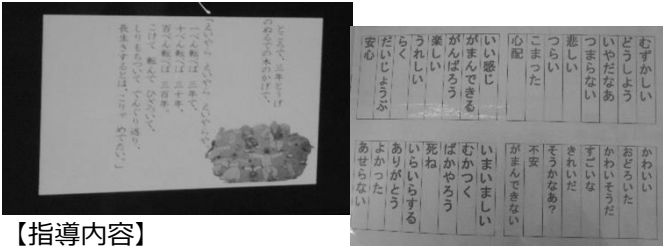
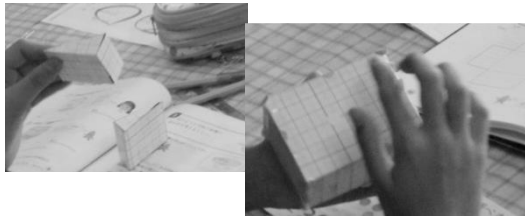


☆ 「自立活動」の実践例

【特別支援学級】 教育活動全体の中で実践している例




【指導内容】
 文章を読むこと、登場人物の心情理解が困難な児童に対して、**環境の把握**の認知特性、**人間関係の形成**等と関連付けて指導。ICTを活用し文章の意味の読み取りを行い、人物の心情を理解した。

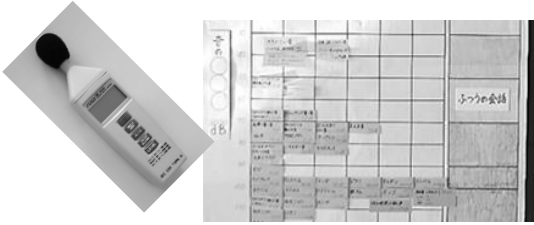


【指導内容】
 空間認知が弱く、図形等の問題が難しい児童に対し、**環境の把握**の認知特性、**概念の形成**と関連付けて指導。具体的な形をイメージすることで、辺や面の数、体積などを求めることができた。

【通級による指導】 自立活動の時間で実践している例




【指導内容】
 場面に応じた行動等が難しい児童に対して、**人間関係の形成**の他者の意図や感情の理解、自己理解と行動の調整、**コミュニケーション**の状況に応じたコミュニケーションと関連づけて指導。客観的に考え、ロールプレイ等で練習することで、実際の友達とのかかわりの中でもトラブルが減っていった。



【指導内容】
 難聴の児童に対して、**健康の保持**の病気の状態の理解や**環境の把握**の感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関すること等と関連付けて指導。機器を使い、音を見えるようにすることで、音の大きさの違いについて知ることができた。

【通常の学級】 教育活動全体の中で実践している例



【指導内容】
 肢体不自由の児童に対して、**環境の把握**の感覚の補助及び代行手段の活用に関すること等と関連付けて指導。活用方法を覚えることで、算数の授業で、問題数を多く解くことができるようになり、学習量が大幅に改善した。

当センターの「教材・支援機器ポータル」にも、「自立活動」の実践例やヒントとなる教材教具がたくさんありますのでご覧ください。
 <<https://special-center.fcs.ed.jp/>>